

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル  
株式会社 KMO

KNOWLEDGE CAPITAL

**グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」  
今、注目の才能や感性をクローズアップ**

**ナレッジキャピタル「クリエイティブギャラリー@The Lab.」vol.3 を開催  
8月22日(土)から、インタラクティブアートユニット「velvet number」の作品を展示**

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社 KMO(代表取締役社長:間瀬 豊)は、グランフロント大阪北館ナレッジキャピタルにおいて、「クリエイティブギャラリー@The Lab.」vol.3 を開催します。

「クリエイティブギャラリー」は、ナレッジキャピタルが注目するユニークな創作活動を行うアーティストやクリエイターの作品や、新しい技術を創出するエンジニアの活動などを発表する場として、2014年12月に開設し、これまで絵本箱作家による陶器作品や、手描き3Dアーティストによる作品などを展示し、多様な才能や感性に触れる機会を提供してまいりました。



人の動きに合わせてグラフィックを作り出す作品  
「KDV (Kinect Depth to Visual) Converter」

また、来場者の皆さまが見て体験した意見や感想を、参加したクリエイターやエンジニアへフィードバックしていくことで、その才能が磨かれ、新しい価値を生み出すきっかけになっています。

今回は、「クリエイティブギャラリー@The Lab.」 vol.3 として、インタラクティブアートユニット「velvet number」の作品を「The Lab.みんなで世界一研究所」に展示します。

展示する作品は、人の体や手の動きを感知して、画面上に映るグラフィックの変化や音を楽しむデジタルアートです。ただ眺めるだけでなく、自分自身の体や手の動きに合わせて生み出されるグラフィックや模様は体験者により異なり、世界に一つだけのオリジナル作品を作り出すことができます。また、最先端の技術を体験しながら、一部の作品はプリントアウトして持ち帰ることもできます。

以上

**【展示概要】**

開催日程 : 2015年8月22日(土)~2015年8月31日(月) 10:00~18:00

会場 : グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル 3階 「The Lab.みんなで世界一研究所」

入場料 : 無料

※期間中は参加アーティスト「velvet number」が、会場で皆さまに作品をご説明します。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人ナレッジキャピタル(担当:稗方、奥村)

電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970/URL:<http://kc-ijp/>

## 【velvet number(田中敦士・田中薫)プロフィール】

2000年よりFlashをメインとしたWEB制作を中心に活動を開始。

昨年よりProcessingでのデザイン、プログラミングによる印刷物、WEB、インスタレーション、映像などの作品を制作。

### ■活動・受賞履歴

2002年 翔泳社「WEB DESIGNERS FILE」掲載

2003年 MdN「MdN デザイナーズファイル 2003」掲載

2004年 MdN「キーカラーで選べる 配色見本ハンドブック」作品掲載

2004年 MdN「文字アイデア見本帳」作品掲載

2005年 スペイン雑誌「Web Magazine e-Site」表紙デザイン

2005年 トーキョー・スタイル・イン・ストックホルム 2004 作品提供

2014年 マイナビ「Web Designing 10月号:WD Monthly Archive」掲載

2014年 アートストリーム 2014 ハートス賞 & 凸版印刷賞受賞

2014年 WIRED「Creative Hack Award 2014」グラフィック部門ファイナリスト



田中 敦士氏



田中 薫氏

## 【展示作品】

### ・作品1「KDV(Kinect Depth to Visual) Converter」

Kinectセンサーの前に立つと、人の形をした3Dグラフィックが50インチモニターに映し出されます。モニター上の3Dグラフィックは、人の動きに合わせてリアルタイムに動き、予想外のビジュアルへと変化します。



「KDV(Kinect Depth to Visual) Converter」制作イメージ

### ・作品2「Orbital Sound Generator」

Leap Motion(手のジェスチャーによってコンピュータを操作できるデバイス)を使って手の位置を感知すると、画面上に玉が現れます。そして、その玉は画面の3D空間の円周上に散らばります。その玉自身は円盤オルゴールの突起のような役割があり、円周上のある部分に来ると音が鳴る仕組みです。手の操作で円周を広げたり、狭めたりすることにより、音が鳴る早さや画面の視点を変化させることができます。



「Orbital Sound Generator」制作イメージ

### ・作品3「Kaleidoscope Drawing」

タブレットの画面上に指やペンで好きなように絵が描ける作品です。線の幅や色はランダムに変化し、細かく描くことも、全くデタラメに描くこともできます。

ただ、画面は万華鏡のようになっていて、どんなにデタラメに描いても、必ず対称性を持ったきれいな模様になります。

描いてもらった絵は画面上からプリントアウトし、オリジナルのポストカードとして持ち帰ることができます。



「Kaleidoscope Drawing」制作イメージ